



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月7日

上場会社名 株式会社 エコミック

上場取引所 東 札

コード番号 3802 URL <https://www.ecomic.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-----|-----|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 330 | 6.7 | 88 | | 78 | | 61 | |
| 2024年3月期第1四半期 | 354 | 4.4 | 50 | | 37 | | 32 | |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 41百万円 (%) 2024年3月期第1四半期 24百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 13.08 | |
| 2024年3月期第1四半期 | 8.53 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 1,984 | 1,721 | 86.8 | 366.80 |
| 2024年3月期 | 2,110 | 1,819 | 86.2 | 387.70 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,721百万円 2024年3月期 1,819百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | | 0.00 | | 12.00 | 12.00 |
| 2025年3月期 | | | | | |
| 2025年3月期(予想) | | 0.00 | | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 669 | 0.2 | 180 | | 177 | | 127 | | 27.09 |
| 通期 | 2,300 | 6.7 | 225 | 30.6 | 230 | 25.2 | 162 | 27.2 | 34.52 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社事業の性質上、業績は下半期に偏重する傾向にあります。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2025年3月期1Q | 4,693,200 株 | 2024年3月期 | 4,693,200 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|------|----------|------|
| 2025年3月期1Q | 60 株 | 2024年3月期 | 60 株 |
|------------|------|----------|------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2025年3月期1Q | 4,693,140 株 | 2024年3月期1Q | 3,815,540 株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料及びその資料を使用した会社説明の動画を後日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、持ち直しの動きに一部足踏みがみられますが、景気は緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当業界におきましては、労働力人口の減少や、定期給与及び現金給与総額の増加など、雇用・所得環境が変化する中で、企業の人材不足や労働環境の変化、SDGsへの取組み等を背景に、企業の効率化、省力化への動向が続き、事業再構築やBCP(事業継続計画)の手段としてのアウトソーシングニーズは引き続き高い状況でありました。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対しバックヤード業務に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく、「バックヤード業務のソリューションプロバイダー」として付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。また、エコミックブランドステートメントとして定めた「信用と品質に基づくプロ集団が、ソリューションを提供する」という方針のもと、カスタマーサービス部門を強化し、社員一人ひとりがプロとして顧客企業へのソリューションを提案してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は330,333千円(前年同四半期比6.7%減)、営業損失は88,096千円(前年同四半期は営業損失50,891千円)、経常損失は78,554千円(前年同四半期は経常損失37,732千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は61,391千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32,536千円)となりました。

なお、当社グループは、BPO事業とソフトウェア・ハードウェア開発事業を展開しておりますが、BPO事業を主要な事業としており、ソフトウェア・ハードウェア開発事業については量的な重要性が乏しくなったため、その他事業として記載しております。また、BPO事業について給与計算関連サービスの一つとして年末調整関連業務を提供しており、下半期の売上高及び営業利益が上半期と比較して多くなる傾向にあります。

各事業の業績は以下のとおりであります。

(BPO事業)

BPO事業については、前連結会計年度に引き続き、既存顧客との関係強化、積極的な営業活動及びサービス品質の向上を含む顧客満足度向上に向けた施策に取り組んでまいりました。前年同四半期に比べ、給与計算処理人数の増加及び住民税BPO業務の増加によるストック売上の拡大並びにその他BPO業務の拡大があった一方、人員の増加及び賃金上昇による労務費の増加並びにその他BPO業務の拡大に伴う外注加工費の増加があった結果、BPO事業における売上高は326,644千円(前年同四半期比2.6%増)、営業損失は77,536千円(前年同四半期は営業損失52,205千円)となりました。

(その他事業)

その他事業として、ソフトウェア・ハードウェア開発事業を展開しております。ソフトウェア・ハードウェア開発事業については、株式会社ビズライト・テクノロジーの主力事業としてAI及びIoTに関連するハードウェア製品、ファームウェア製品、そして受託ソフトウェア開発等を行ってまいりましたが、前連結会計年度において戦略分野への事業集中のため経営資源の見直しを行い、受託ソフトウェア開発及び保守に注力した一方、ハードウェア開発分野を縮小いたしました。その結果、その他事業の売上高は12,292千円(前年同四半期比72.1%減)、営業損失は7,281千円(前年同四半期は営業利益2,338千円)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,573,706千円となり、前連結会計年度末に比べ148,662千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が141,066千円減少したことによるものであります。固定資産は410,671千円となり、前連結会計年度末に比べ22,469千円増加いたしました。これは主にその他有形固定資産が20,096千円及びその他無形固定資産が11,041千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,984,378千円となり、前連結会計年度末に比べ126,192千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は168,414千円となり、前連結会計年度末に比べ5,905千円減少いたしました。これは主に未払金が18,344千円増加した一方、その他の流動負債が14,308千円、未払法人税等が4,777千円減少したことによるものであります。固定負債は94,508千円となり、前連結会計年度末に比べ22,212千円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が18,260千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は262,923千円となり、前連結会計年度末に比べ28,117千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,721,455千円となり、前連結会計年度末に比べ98,075千円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が117,709千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は86.8% (前連結会計年度末は86.2%) になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に発表いたしました2025年3月期 (2024年4月1日～2025年3月31日) 第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,491,545 | 1,350,479 |
| 受取手形及び売掛金 | 173,847 | 156,394 |
| 製品 | 3,685 | 2,513 |
| 原材料 | 141 | — |
| その他 | 53,249 | 64,412 |
| 貸倒引当金 | △101 | △93 |
| 流動資産合計 | 1,722,368 | 1,573,706 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 54,129 | 55,327 |
| その他 (純額) | 7,677 | 27,774 |
| 有形固定資産合計 | 61,807 | 83,101 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 182,280 | 180,530 |
| のれん | 48,298 | 44,380 |
| その他 | 919 | 11,960 |
| 無形固定資産合計 | 231,497 | 236,871 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 5,220 | 7,955 |
| 敷金及び保証金 | 59,078 | 60,633 |
| その他 | 30,597 | 22,108 |
| 投資その他の資産合計 | 94,897 | 90,697 |
| 固定資産合計 | 388,202 | 410,671 |
| 資産合計 | 2,110,571 | 1,984,378 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 24,978 | 22,314 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 23,327 | 20,828 |
| 未払金 | 12,880 | 31,225 |
| 未払法人税等 | 11,651 | 6,874 |
| その他 | 101,481 | 87,172 |
| 流動負債合計 | 174,319 | 168,414 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 91,101 | 87,148 |
| 繰延税金負債 | 25,620 | 7,359 |
| 固定負債合計 | 116,721 | 94,508 |
| 負債合計 | 291,041 | 262,923 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 564,284 | 564,284 |
| 資本剰余金 | 399,199 | 399,199 |
| 利益剰余金 | 799,926 | 682,217 |
| 自己株式 | △36 | △36 |
| 株主資本合計 | 1,763,375 | 1,645,665 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 56,155 | 75,789 |
| その他の包括利益累計額合計 | 56,155 | 75,789 |
| 純資産合計 | 1,819,530 | 1,721,455 |
| 負債純資産合計 | 2,110,571 | 1,984,378 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 354,093 | 330,333 |
| 売上原価 | 281,405 | 276,067 |
| 売上総利益 | 72,688 | 54,266 |
| 販売費及び一般管理費 | 123,579 | 142,363 |
| 営業損失(△) | △50,891 | △88,096 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 192 | 878 |
| 助成金収入 | 6,142 | 3,662 |
| デリバティブ評価益 | 1,354 | 7,654 |
| 保険解約返戻金 | 6,437 | — |
| その他 | 967 | 1,652 |
| 営業外収益合計 | 15,093 | 13,847 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 287 | 358 |
| 為替差損 | 1,646 | 3,926 |
| その他 | — | 19 |
| 営業外費用合計 | 1,934 | 4,304 |
| 経常損失(△) | △37,732 | △78,554 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △37,732 | △78,554 |
| 法人税等 | △5,195 | △17,162 |
| 四半期純損失(△) | △32,536 | △61,391 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △32,536 | △61,391 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失 (△) | △32,536 | △61,391 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 8,347 | 19,634 |
| その他の包括利益合計 | 8,347 | 19,634 |
| 四半期包括利益 | △24,189 | △41,757 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △24,189 | △41,757 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | その他 | 調整額 (注) 1 | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|--------------|---------|
| | BPO事業 | | | (注) 2 |
| 売上高 | | | | |
| 給与計算関連サービス | 289,350 | — | — | 289,350 |
| ソフトウェア・ ハードウェア開発 | — | 35,843 | — | 35,843 |
| BPOその他サービス | 28,900 | — | — | 28,900 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 318,250 | 35,843 | — | 354,093 |
| その他の収益 | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 318,250 | 35,843 | — | 354,093 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | 8,176 | △8,176 | — |
| 計 | 318,250 | 44,019 | △8,176 | 354,093 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △52,205 | 2,338 | △1,024 | △50,891 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | その他 | 調整額 (注) 1 | 合計 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------------|-------------|
| | BPO事業 | | | |
| 売上高 | | | | |
| 給与計算関連サービス | 288,650 | — | — | 288,650 |
| ソフトウェア・ ハードウェア開発 | — | 3,688 | — | 3,688 |
| BPOその他サービス | 37,994 | — | — | 37,994 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 326,644 | 3,688 | — | 330,333 |
| その他の収益 | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 326,644 | 3,688 | — | 330,333 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | 8,604 | △8,604 | — |
| 計 | 326,644 | 12,292 | △8,604 | 330,333 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △77,536 | △7,281 | △3,278 | △88,096 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

ソフトウェア・ハードウェア開発事業について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」に変更しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 25,989千円 | 24,796千円 |
| のれんの償却額 | 3,918 | 3,918 |